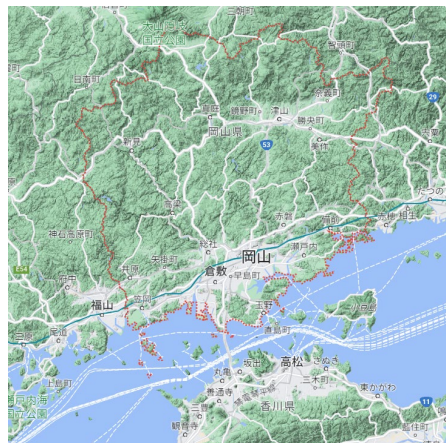


病院名 岡山大学病院
都道府県名 岡山県

都道府県の情報

都道府県内の総人口
がん死亡者数 (%)
高齢化率

1,858,269人 (令和5年1月1日)
5,675人 (0.3 %) (令和3年)
30.6 % (令和3年)



県南部の岡山市、倉敷市は交通の要衝。
県南部に人口が集中。県北部は山間地域。

病院名 岡山大学病院
都道府県名 岡山県

都道府県内のがん患者の状況

がん種	罹患者数	罹患率	死亡者数	死亡率
肺がん	2,023人	0.107%	1,119人	0.060%
大腸がん	2,387人	0.126%	676人	0.036%
胃がん	2,122人	0.112%	664人	0.036%
乳がん	1,399人	0.074%	205人	0.011%
肝臓がん	672人	0.036%	437人	0.023%
	人	%	人	%
	人	%	人	%

病院名 岡山大学病院
都道府県名 岡山県

がん診療連携拠点病院の情報

都道府県がん診療連携拠点病院

1 施設

岡山大学病院 817床

地域がん診療連携拠点病院

6 施設

岡山済生会総合病院 473床

岡山赤十字病院 500床

倉敷中央病院 1,167床

津山中央病院 462床

岡山医療センター 609床

川崎医科大学附属病院 1,154床

病院名 岡山大学病院
都道府県名 岡山県

がん診療病院の情報

地域がん診療病院	2 施設	
高梁中央病院	160床	
金田病院		130床
がん診療連携推進病院	4 施設	
岡山労災病院	358床	
岡山市立市民病		387床
川崎医科大学総合医療センター	647床	
倉敷成人病センター	269床	

病院名 岡山大学病院
都道府県名 岡山県

都道府県におけるがん医療の特性

- 岡山県南部の2医療圏の人口が全県人口の84.0%を占める
地域医療情報システム <https://jmap.jp/>
- 医療施設も県南部に集中し、県北部の高齢化率が高い
- 県北部医療圏在住者の20-30%が県南部医療圏の病院に入院しており、がん患者に限るとさらに高率になる
- 全国平均に比してがんによる死亡の割合がやや低く、特に女性のがんによる死亡率が低い
- がんによる在宅死亡は増加傾向にあるが、R4年の調査では全国の22.1%に比べ、岡山県は18.3%とやや低い

(<https://www.e-stat.go.jp> 人口動態調査 2022)

病院名 岡山大学病院
都道府県名 岡山県

都道府県におけるがん化学療法の現状と課題

【現状】

- 県南部は医療資源に比較的恵まれているが、県北部は不足している。(拠点病院やがん関連専門資格を有する医療人材、訪問診療医など)
- がん診療連携拠点病院と地域かかりつけ医との連携が不十分
- がん化学療法患者への在宅支援導入時期が遅い傾向
- 施設内あるいは施設間の化学療法チームの連携不足

【課題】

- がん医療の提供体制の充実
- がん化学療法患者への支援(情報提供)
- 高齢がん患者に対する地域連携の推進(ACP)
- がん患者の就労、生活、サバイバーシップの支援

研修の概要

【タイトル】がん化学療法における多職種・地域連携を考える

【目的】 患者さんに安全ながん化学療法を提供できる連携体制を構築する。

【対象者・人数】 岡山県内のがん化学療法実施施設の医療スタッフ
4職種(医師、看護師、薬剤師、MSW)一組で参加 4施設16名

【目標】

一般目標 (GIO)

化学療法実施において各職種が自身の役割および課題を認識し多職種で共有する。

到達目標 (SBO)

1. 各施設が化学療法における問題点を認識できる。
2. 化学療法開始時の各職種の役割を把握できる。
3. 自施設で出来ること、出来ないこと、今後の改善点が明確になる。
4. 地域連携の実践に向けての院内連携を整備できる。

プログラム

開始	終了	時間 (分)	研修方法	内容
12:15	12:30	15		オリエンテーション
12:30	13:10	40	発表	参加施設課題発表 (10分×4施設)
13:10	13:30	20	講義	事例提示
13:30	14:00	30	グループワーク	職種別グループワーク (事例提示、グループワーク)
14:00	14:10	10	休憩	
14:10	14:40	30	グループワーク	施設・職種混合グループワーク
14:40	14:50	10	休憩	
14:50	15:40	50	グループワーク	施設別グループワーク
15:40	15:50	10	休憩	
15:50	16:30	40	発表	各施設発表 (発表+質疑応答)10分×4施設
16:30	16:45	15		総評



セッション1 オリエンテーション

日時 ○月 ○日(○) 12:15~12:30

場所

セッティング 講義形式

担当

用意するもの PC、プロジェクター、ポインター、マイク

【学習目標】

研修の目的を理解する

【事前準備】

研修概要スライドの作製、配布資料準備

【会場準備】

開始前に配布資料を机の上に配置

【すすめ方】

ファシリテーターから研修概要について説明する

【セッションでの留意点】

セッション2 各施設課題発表

日時 ○月 ○日(○) 12:30~13:10

場所

セッティング 参加施設ごとのグループワーク

担当

用意するもの PC, プロジェクター、ポインター、マイク

【学習目標】

自施設におけるがん化学療法の現状と課題を理解する

他施設のがん化学療法実施状況について知り、情報共有を行なう

【事前準備】 事前課題の送付

施設紹介(施設規模、地域で果たす医療機能)

自施設(および二次医療圏)のがん化学療法実施状況、問題点の抽出

【会場準備】 グループごと

【すすめ方】

各施設10分(発表6分、質疑応答4分)で発表してもらう ×4施設

①施設の特徴、地域での役割②自施設における化学療法の現状と課題

【セッションでの留意点】

時間厳守

セッション3 事例提示

日時

○月 ○日(○) 13:10~13:30

場所

セッティング 講義形式

担当

用意するもの PC、プロジェクター、ポインター、マイク

【学習目標】

事例から化学療法実施時の問題点を抽出し、職種ごとの介入ポイントをイメージできる

【事前準備】

提示事例の準備、パソコン

【会場準備】

グループごと

【すすめ方】

講義:事例提示の目的を説明。講師より事例紹介

今後のグループワークの進め方(各グループで司会、記録、質問者、発表者の役割決め)

グループで話し合う内容の説明。

【セッションでの留意点】

紹介後、質問があれば受け付ける。セッション④⑤⑥のワークへつなげる。

セッション4 職種別グループワーク

日時 ○月 ○日(○) 13:30~14:00

場所

セッティング グループワーク形式(職種別)

担当

用意するもの メモ用紙

【学習目標】

化学療法開始時の自身の職種の役割と課題を認識し、他施設の状況を理解できる。

【事前準備】

【会場準備】 職種別にテーブル配置を行う

【すすめ方】

グループワーク 各グループにファシリテーターを1~2名配置(1人はグループと同じ職種)
簡単な自己紹介の後に自施設における職種の役割と課題、院内連携の状況を話し合う。

【セッションでの留意点】

ファシリテーターはワークが円滑に進むようにサポート。時間管理を行う。



セッション5 施設・職種混合グループワーク

日時 ○月 ○日(○) 14:10~14:40

場所

セッティング グループワーク形式(施設・職種混合)

担当

用意するもの メモ用紙

【学習目標】

化学療法開始時の各職種の役割、連携を認識し、自施設の課題を抽出できる。

【事前準備】

参加者のグループ分け

【会場準備】 施設・職種を混合したテーブル配置を行う

【すすめ方】

グループワーク 各グループにファシリテーターを1~2名配置

簡単な自己紹介の後に、事例に対処する各職種の役割と院内連携のあり方を話し合う。

【セッションでの留意点】

ファシリテーターは発言を促し、ワークが円滑に進むようにサポート。時間管理を行う。

セッション6 施設別グループワーク

日時 ○月 ○日(○) 14:50~15:40

場所

セッティング グループワーク形式(施設別)

担当

用意するもの PC

【学習目標】

化学療法開始時の各職種の役割分担と連携のあり方をチームで共有し、課題を認識できる。

【事前準備】 話し合ってもらおう要点の整理 発表用フォーマット

【会場準備】 施設ごとのテーブル配置

【すすめ方】

グループワーク 各グループにファシリテーターを1~2名配置

セッション4、5で得た情報も踏まえ、自施設での各職種の役割と院内連携についてまとめる。

【セッションでの留意点】

ファシリテーターはワークが円滑に進むようにサポート。時間管理を行う。

セッション7 各施設発表

日時

○月 ○日(○) 15:50~16:30

場所

セッティング グループワーク形式

担当

用意するもの PC、プロジェクター、ポインター、マイク、タイマー

【学習目標】

化学療法実施において各職種が自身の役割および課題を認識し多職種で共有する
自施設で出来ること、出来ないこと、今後の改善点が明確になる
地域連携の実践に向けての院内連携を整備できる

【事前準備】

発表用フォーマット パソコン

【会場準備】

なし

【すすめ方】

発表と質疑応答（発表 6分+質疑応答 4分）10分×4施設

【セッションでの留意点】

ファシリテーターが積極的に質問する。参加者に質問を促す。

時間厳守



研修の評価

【実施評価】

- ・研修修了時のアンケート(各セッションの理解度、研修会の運営に対する評価)

【結果評価】

- ・研修前後のアンケート調査
- ・1年後のフォローアップ研修

【企画評価】

- ・ファシリテーターミーティング(研修会の進捗管理と運営の評価)
-